

農業振興ビジョンの作成へ

ミライに描く 農業のカタチ

JAの使命

このままでは、農業生産が縮小し
産地の存続が危ぶまれる状況になって
しまいます。そうならないためにも農
業の振興、活性化に向けての取り組み
が必要となります。

令和5年度からJAでは、「組合員
とともに創造『農業と協同の未来』」と
題した2か年計画に取り組みます。新
たな環境の変化や産地の課題に対応
し、持続可能な農業の実現に向けた事
業を進めていきます。

JA掛川市2か年計画 令和5年度～6年度

組員員とともに創造 “農業と協同の未来” (抜粋)

基本目標1

産地の維持・拡大に向けて
農業振興を強化します

基本戦略

- 1 地域の特性を活かした農業振興の推進
生産品目の複合化 など
- 2 さすが市の運営強化による農業の飛躍
JA間連携による品揃えの強化 など
- 3 産地を支える担い手の育成・確保
イチゴの新規就農者受入 など
- 4 生産拡大を支える労働力確保支援
農業者への人材紹介の取り組み など
- 5 販路拡大に向けた販売機能の強化
通販販売体制の構築 など

JA掛川市 農業振興ビジョンの作成に向けて

現状

栽培面積、販売高の減少
JAの機能発揮に向けた取り組みの改善

実践

重点品目を核とした農業振興

- 組員員との関係構築、組織基盤の強化
- 将来的な産地構想の明確化
 - 主要品目、推奨作物を中心とした生産計画の検討、作成
 - 部会強化シートの作成 ○生産者に対する意向調査
 - 目指す姿の具体化と共有

将来

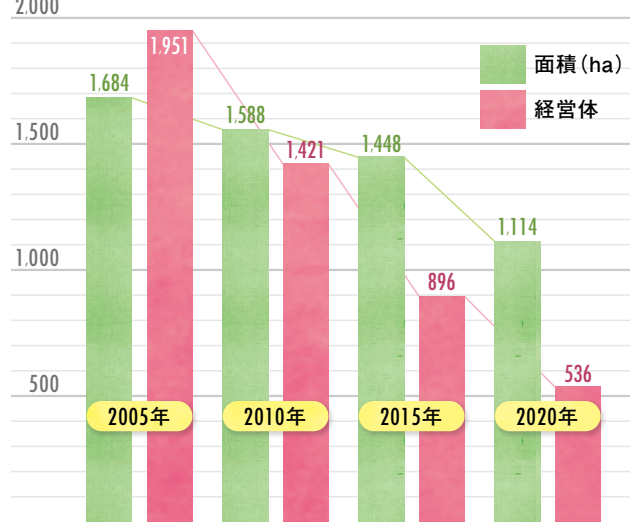
JA 掛川市の産地力・魅力の向上
産地の維持・拡大

厳しい環境の変化

深蒸し煎茶の一大産地として知ら
れる掛川市。JA販売高の約40%を占
める茶生産の現状は厳しく、掛川市内
の経営茶園面積は15年で1,684 ha
から1,114 ha（令和2年）に、1,
951あった経営体も536（令和2
年）にまで減少しています。また、茶
生産者の年齢は60歳以上が7割を超
え、その約8割が後継者なしと回答し
ています。

このような農家数、生産面積
の減少に加え、近年では海外情
勢の影響などから生産資材の価
格が高騰。すべて
の農家の経営をさ
らに困難な状況に
しています。

茶の経営体数と面積（掛川市）

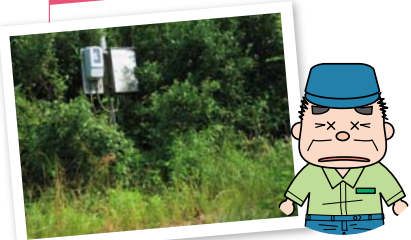


食料の安定的な供給を確保すること「食料安全保障」という
言葉をよく聞くようになりました。
農業を取り巻く状況が厳しさを増す中、
JA掛川市は産地の維持・拡大に向けた取り組みとして、
長期的な農業政策の指針「農業振興ビジョン」を作成します。
この先もずっと安心して暮らしていくため
持続可能な農業の実現に向けて――

わたしたちの
たべもの、
どうなるの？

加えて、未来ある産地をつ
くるには、農家とJAが一体
となることが重要となり、そ
のためには明確な目標を設定
する必要があります。そこで、
管内農業の長期的な指針とな
る「JA掛川市農業振興ビ
ジョン」を作成し、将来的な
産地力向上に取り組んでいき
ます。

ONE ACTION!



Q 荒れた茶園を
持っているけど…

ANSWER!

茶樹の粉碎から伐根まで行うあ
ぐりサポート掛川をご利用くださ
い。意向に応じて指導員が転換
作物などの説明も行います。
あぐりサポート掛川
(☎ 0537-23-1802)



Q 使っていないハウスが
あるけどどうしようか

ANSWER!

農地の貸し借りなどJAにご相談
ください。組合員課
(☎ 0537-20-0810)

これからも、
おいしい
やさしい
たべたいな

